

NJ 素流協 News

平成24年 8月31日
第92号

平成24年 8月31日発行・発行所 ノースジャパン素材流通協同組合 〒020-0024 盛岡市菜園1丁目3-6 (農林会館9階)
TEL 019(652)7227 / FAX 019(654)8533 / <http://www.soryukyo.or.jp/index.html>

「発電利用に供する木質バイオマス」に関する行動規範等を策定、公表しました

本年7月1日から「電気事業者

による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」に基づく

「再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT)」が始まりました。

林野庁はこれに先立ち、本年6月「発電利用に供する木質バイオマスの証明のためのガイドライン」を作成し、燃料となる木質バイオマスの供給者が、木質バイオマスをその由来によって正しく分別管理し、証明を行うことを求めました。

当NJ素流協ではこれまで、合法性・持続可能性が証明された木材と木材製品を供給するため、合法木材と間伐材チップの供給事業者を認定する「事業者認定団体」として、組合員を対象に研修会を開催し、認定を行ってきました。

今般、木質バイオマス証明のガイドラインが示されたことを受け、従来の自主行動規範等に木質バイオマス証明に関する内容を加えて改定し、ホームページ上で公表しましたので、その内容等について解説します。

▽「発電利用に供する木質バイオマス」とは

「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」

は、電力会社

に、再生可能エネルギーによる

発電電気を一定の価格・期間で

買い取ることを義務づけるもので、

その概要は本紙第89号

でお伝えしたところで

す。


	バイオマス	メタン発酵ガス化発電	未利用木材 燃焼発電 (※1)	一般木材等 燃焼発電 (※2)	廃棄物 (木屑以外) 燃焼発電 (※3)	リサイクル 木材燃焼発電 (※4)
	調達価格 調達期間	40.95円 20年間	33.6円 20年間	25.2円 20年間	17.95円 20年間	13.65円 20年間

図 発電用バイオマスの種類と電気買取価格 (金額は税込。資源エネルギー庁ホームページより)

このうち木質バイオマスは、その原料の由来によって、未利用木材、一般木材、リサイクル木材の3種類に分類され、それぞれ異なる買取価格が設定されています (図)。

林野庁ガイドラインではこれらを次のように定義しています。

- ①未利用木材 間伐材等由来の木質バイオマス。森林における立木の伐採または間伐により発生する未利用の木質バイオマス(輸入されたものを除く)で、間伐材・除伐材と、森林経営計画対象森林・保安林・国有林・官行造林から伐採、生産された木材を言う。
- ②一般木材 一般木質バイオマス。木材の加工時等に発生する端材、おがくず、樹皮等の製材等残材と
- ③リサイクル木材 建設資材廃棄物

①以外の木材で由来の証明が可能なものを言う。

なお、木質バイオマスのうち、

林野庁ガイドラインに準拠して分別管理されたことが確認できない

ものがある。

ものは、全て③の建設資材廃棄物とみなされます(経済産業省告示)。▽発電利用に供する木質バイオマスの証明のためのガイドライン

このガイドラインでは、前述のように木質バイオマスについての定義を明らかにしたうえで、特に①と②の証明について、原木の伐採段階、製材等段階、加工・流通段階それぞれで証明書を交付するよう指導しています。

これに対して、当NJ素流協は、分別管理と証明の方法が、従前から行われている木材の合法性・持続可能性、間伐材チップの証明の方法と共通する部分が多いことから、これらを整理統合し、新しい自主規範等を作成して、組合員の出荷する木材の管理と証明にあたることとなりました。

▽NJ素流協の自主行動規範等

当NJ素流協は、8月28日付で「合法性・持続可能性の証明、間伐材の確認及び発電利用に供する木質バイオマスの証明に関する自主行動規範」、同「証明に係る事業

者等認定実施要領」、同「分別管理及び書類管理方針書」を作成、公表しました。木質バイオマス供給事業者の認定と木材の管理・証明に関する事務は、従来の合法木材証明と一体化して行い、組合員の負担をできるだけ少なくするよう配慮することとしています。

具体的には、新規に加入する組合員はあらかじめ認定を受け、事業者認定は3年ごとに更新すること、木材の証明には従来と同じく、伐採及び伐採後の造林届出書、保安林伐採許可の通知、国有林立木の売買契約書の写し等を添付すること、木材の証明は、伐採から加工、流通段階へと、それぞれの納入ごとに証明書の交付を繰り返すことで行います。

電気買取価格の区分は、そもそも再生可能エネルギーの調達コストを、消費者が適正に負担することを目的としています。この制度によって木材需要が増大することが見込まれる中で、適正な販売がなされ、山元に資金が還元される

ことを期待しています。組合員の皆様の更なるご理解とご協力をよろしくお願い致します。

平成24年度「岩手県森林・林業会議」の提案要望と意見交換会

8月7日盛岡市において、岩手県森林・林業会議(森林・林業関係団体等で組織)の岩手県への提案要望と県林業関係幹部職員との意見交換会が催された。これは次年度の施策に反映させる趣旨で毎年開催されているもので、当NJ素流協からは要望事項2件を提出し、県から次のような回答を得た。
要望① 再造林の低コスト作業仕組みの構築について

造林未済地の増大に対処し森林を再生させるには、再造林コストの低減と造林補助事業での自己負担分軽減が必要である。低コスト作業仕組み構築へ向けた取組みの強化、低コスト作業の試行的取組みへの支援、造林補助事業でのカラマツコンテナ苗の適用、森林経営計画の普及指導強化等をお願いし

たい。
【県からの回答】
再造林促進にあたっては、国へ定額助成制度の創出を要望しているほか、造林コスト低減に向けて、植栽本数の基準緩和、スギコンテナ苗の補助対象化、低コスト育林技術の研究等を行っている。カラマツコンテナ苗の補助適用についても早急に結論を出したい。

要望② 木質バイオマスエネルギー利用施設の整備促進について
再生可能エネルギー固定価格買取制度が始まり、林業・林産業振興の大きな起爆剤になると考えている。この制度に積極的に関与し、木質バイオマスによる熱供給設備を中心とした街づくり構想の策定や、施設整備の促進支援に取り組んで欲しい。

【県からの回答】
県内には地域熱供給施設の整備による先進的な街づくりを掲げている市町村があり、県として具体化に向けた指導・助言を行ってきた。木質バイオマスコーディネーターを活用しながら技術支援を行うほか、加速化基金事業等により施設整備を支援していきたい。

**平成24年版
森林・林業白書②**

前号に続き「平成24年版森林・林業白書」より概要を紹介します。

▽木材価格の動向

国産材の丸太価格は、昭和55(1980)年をピークに長期的な下落傾向にあったが、近年は横ばいに推移している。平成23(2011)年の国産材丸太価格は、ヒノキで2万1千700円/㎡、スギで1万2千300円/㎡、カラマツで1万800円/㎡と、いずれも前年に比べ僅かに上昇したが、ヒノキについては長期的な下落傾向にある(図1)。

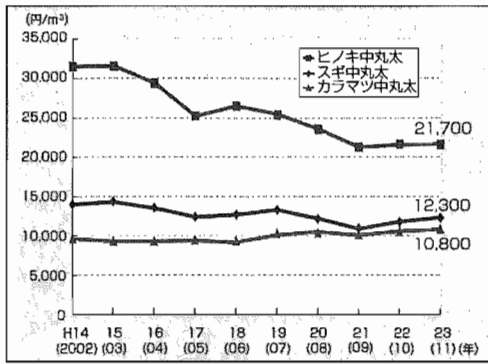


図1 国産材丸太価格の推移 (林野庁ホームページより)

平成23(2011)年の製品価格については、スギ正角(乾燥材)では6万3千800円/㎡と前年より3千700円/㎡上昇、これと競合するホワイトウッド集成管柱(外材を国内で加工したもの)では6万6千500円/㎡と前年同額であった。針葉樹合板については前年より230円/枚上昇し1140円/枚であった(図2)。

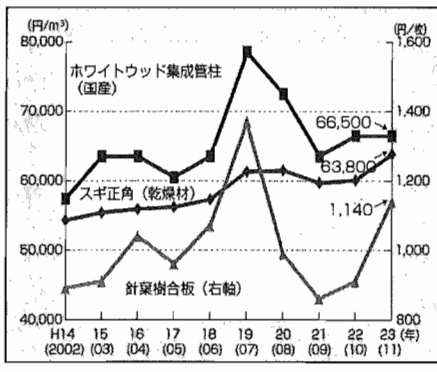


図2 製品価格の推移 (林野庁ホームページより)

国産木材チップ(紙・パルプ用)の価格は、平成18(2006)年から上昇傾向にあったが、紙需要の減少等により平成22(2010)年からは下落に転じ、平成23(2011)年は広葉樹チップで1万7千300円/トン、針葉樹チップで1万2千400円/トンであった(図3)。

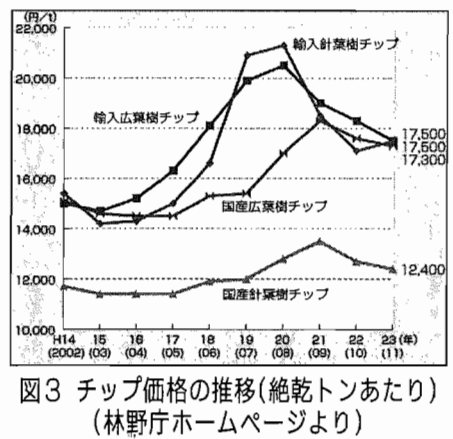


図3 チップ価格の推移(絶乾トンあたり) (林野庁ホームページより)

原発事故の影響と指導 (第4報)

▽林野庁による調査結果

林野庁は、平成24年2月3月にかけて、福島県内の8箇所の森林における空間線量率と樹木(スギ、アカマツ)の部位別(樹皮、辺材、心材)放射性セシウム濃度を調査し、8月9日に調査結果を公表した。

これによると、幹材(辺材・心材)の放射性セシウム濃度は樹皮よりも低く、今回の調査における最大値は、497ベクレル/kg乾燥重量だった。これと同じ濃度の木材で作った居室内での人体への追加被ばく線量(自然被ばく及び医療被ばく線量を除いた被ばく線

量)は年間0.012ミリシーベルトと試算され、年間自然被ばく線量1.5ミリシーベルトと比べ低い値となった。また、同時期に東京電力福島第1原子力発電所から400km以内の製材工場等において、木材製品の放射性セシウム表面密度(単位:ベクレル/cm)及び工場内外の施設における空間線量率を調査したところ、ほとんど影響がみられないという結果となった。

▽放射線障害防止の対策

厚生労働省が制定した「除染電離則」(放射線障害を防止するための規則)が改正され(平成24年7月1日施行)、除染等の業務に加えて、空間線量率が2.5マイクロシーベルトを超える場所を除染以外の業務を行う場合においても、事業者が労働者の被ばくを低減するための措置を講ずることとされた。岩手県では奥州市、一関市及び平泉町が対象地域に含まれ、森林内で行う作業についても対象になる。このため、対象地域においては、事業主が作業場所の空間線量率を調査し、その結果が基準値を超える場合は、労働者の健康管理等の対策を講じる必要がある。

トピックス

▽8月22日(水)に放映されたIBC
岩手放送「森からのメッセージ 東北
の復興と森林再生に向けて」において、
7月に岩手県遠野市で開催された「次
世代林業東北サミット」の内容と併せ、
NJ素流協の地域材安定供給の取組み
が紹介されました。

▽8月24日(金)に岩手県大船渡市で
開催された「平成24年度 震災復興に
かかる研修会」(主催:気仙地方林業振
興協議会ほか)において、NJ素流協
高橋常務理事が「震災後の素流協の取
組みと素材流通の現状」と題し、講演
を行いました。

今月の名木・巨木 5 (大槌町)

大槌町指定天然記念物

小鎚(こづち)神社の

縦(もみ)の木

指定.. 1988年11月30日

所在.. 上閉伊郡大槌町上町2-16



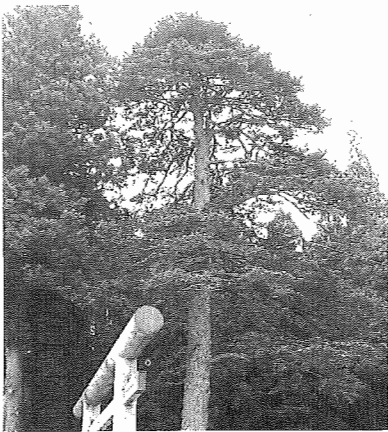
平成23年3月11日、東日本大震災の日、大槌町は市街地のほとんどが津波により破壊され、街は炎に包まれた。

町の中心部に位置する小鎚神社は、若干高台にあるため津波は逃れたものの、周囲を火の手に囲ま

れあわや焼失、という状況であった。しかし宮司ほか数名が一晩中必死の水掛けを行い、無事神社と神輿を守り通した。

小鎚神社の縦の木は、幹周り3m70cm、推定樹齢約500年とされる(大槌町文化財指定候補物件調査報告書より)。

今から約500年前とは、大槌氏が室町時代〜江戸時代初期にかけて約280年にわたり繁栄し、現在の山田町、大槌町、釜石市一帯を統治していた時代である。なかでも城主大槌孫八郎政貞は優れた戦国武将として名を残しているが、一方で特産の鮭を新巻にして



「南部鼻曲がり鮭」として江戸に広めたことでも知られている。

小鎚神社の神輿は17世紀から受け継がれてきたもので、例年9月

には例大祭が行われる。昨年は規模を縮小して境内でのみ行われた祭りだが、今年はお祭りの市街地を神輿が練り歩く。

冗談欄 「共感 は 言葉の反復で」

女房と話をしていると、話が回りくどくなかなか結論を話さない。イライラしてくる。それでも我慢して、うんざりするほど話を聞いてやっているつもりなのに「あなたは私の話を聞いていない」となじられる。

その反動か、電話や街中で友人との会話は呆れるほど次から次へとどうでもよい無駄な話が延々と続く。これは女性脳という女性特有の頭脳回路によるもので、人類が存続するために備え持っている機能で何ともしがたいものらしい。

アメリカの心理学者は、女性は一日のうち2万語の単語を口にしなければならぬ生き物であると言っている。このため、女性は感じたことを感じるままにどんな言葉にしていくのであり、逆に口から出さないとストレスがたまり、イライラしてくる。こととなる。

そこで、「新聞を読んだら片付けて」「早く風呂に入って」「脱いだものは洗濯機へ入れて」などと事細やかに指示を出すこととなる。それで

も足りなければ「何度言っても直らないんだから」と愚痴もつけ加わることとなる。

これも2万語のためであり、それが直ったから話さなくなるというものではなく、次の新たな材料を見つけて話してくるのである。

頭脳研究者によれば、会話で女房を満足させ、イライラを解消させるには、内容など考えずに共感してやるだけでよく、言葉を反復するだけでよいのだそう。

「暑いワ」と言われたら「夏だから仕方ないじゃないか」などとは言わずに「ホント、暑いナ」と言われ「我慢できそうにない」と言われたら「無理して節電などせずにエアコンつけばよいのにな」などと「そうか、我慢できないのか」と反復するだけでよいのだそう。

「私、ボケが始まったかしら」と言われたら、「うん、ボケてきたみたいだよ。。。。」

平成24年8月分の販売実績

- 1 合板用出荷量を前月と比較すると、スギが約840m³減少、カラマツが約120m³増加、アカマツが約150m³増加し、全体では約370m³減少している。昨年同月と比較すると、スギが約3,390m³減少、カラマツが約5,220m³増加、アカマツは約750m³増加し、全体では約2,780m³増加している。今月のシステム販売取扱量は約1,090m³であった。
- 2 その他（合板用以外）の出荷量は前月より約1,210m³減少、昨年同月より約90m³減少している。
- 3 今年度の年間計画量（案）に対する出荷量の割合（目標達成率）を42%とすると、今年度の全体出荷実績は、計画数量を7ポイント下回る結果となった。

(m³)

樹種	長級 (m)	当月出荷量			今年度累計			
		合板用	その他製材用等	計	合板用	樹種別割合 (%)	その他製材用等	計
スギ	2.0	1,910	4,104	(579)	10,874	29.4	23,604	(2,052)
	4.0	666			5,402			
	計	(579) 2,576			(2,052) 16,276			
カラマツ	2.0	4,222	79	(508)	18,992	52.9	3,013	(563)
	4.0	2,577			10,303			
	計	(508) 6,799			(563) 29,295			
アカマツ	2.0	1,174	1,436	1,436	7,323	17.3	98	9,676
	4.0	263			2,255			
	計	1,436			9,578			
その他針葉樹		193		193	193	0.3	58	251
広葉樹			20	20		0.0	260	260
合計		(1,087) 11,004	4,202	(1,087) 15,207	(2,615) 55,341	100.0	27,033	(2,615) 82,374
目標達成率 (%)								34.3
今年度計画量								240,000

() はシステム販売取扱量（内数）

落穂拾い

今年の夏は例年になく猛暑が続く。八月も盆が過ぎて最後の週に入ってもこの暑さ、まったく参ってしまふ。2、3日前に、この蒸し暑さに負けない体力をつけようと近くの鰻屋に勇んで入ったところ、「予約客で満員です」と断られた。

日本人は誰もが同じことを考えるのだなど妙に感心し、すぐそこを後にしたのだ。鰻といえば、土用の丑の日に鰻を食するのがよいと考えたのは江戸時代の平賀源内だとはよく聞く話だが、鰻の効用はずっと昔から知られていたようである。万葉集のなかに大伴家持のこんな歌がある。

石麻呂に 我物申す 夏瘦せに 良しといふものぞ 鰻捕り喫せ。石麻呂という人は、家持と親しい間柄で、部下だったという説もあるが、ひどく痩せておりいくら飲んでも食べても少しも肥えない体質であつたらしい。そこで家持は親切心を發揮して「夏瘦せにいいから鰻を食べなさい」と言うのだが、それに続いて二首目を詠んでいるが、これが面白い。

瘦す瘦すも 生けらばあらむを はたやはた 鰻を取ると 河に流るなと言っているのである。意味はわかると思うが「でも、いくら痩せてるといっても、生きてりゃ儲けもの。鰻を捕らうとして川に入って流されなされるな。じつに念の入ったからかいである。大伴家持といえは、万葉集の後期を代表する天才歌人であるが、その人がこのようなユーモアのある人とは知らなかった。

ところで、鰻はたくさんビタミンを含有し、たとえば身体に抵抗力をつけるビタミンA、肌や髪によいビタミンB1、血行をよくする鉄分とビタミンEが豊富である。その脂には血液を

サラサラにし、血管や細胞の活性化を促し、高血圧・脳卒中・動脈硬化の予防や炎症を防ぐエイコサペンタエン酸や、学力低下や視力低下を防ぎ知能・記憶力向上、脳の発達に効くドコサヘキサエン酸がたっぷり含まれる。またアルギニンというアミノ酸が多く含まれるが、これは男性に精がつくといわれている。ともあれ滋養強壮効果抜群の鰻を、奈良時代にすでに経験的に知覚し諺のように知れ渡っていたということになる。

さて、先の「平賀源内」であるが、この人は讃岐国（今の香川県）で生まれ、幼少の頃から才気煥発の子供だったらしく、早くから本草学（今の薬学、博物学）を学び、長崎にも遊学して本草学、オランダ語、医学、油絵などを学んだという。江戸に出たからは、その異能・多才ぶりは有名であつたらしく、『解体新書』を翻訳した杉田玄白とも昵懇の間柄で、玄白の回想録である『蘭学事始』の中で源内との対話に1章を割いている。本業はというと、本草学者、蘭学者、医者、作家、発明家、画家など多種多様であり、多彩な分野で活躍した。まさに天才、異才の人と称される所以である。

もとに戻るが、平賀源内と鰻の話は、夏場の売り上げ不振に悩んだ鰻屋に頼まれて「夏バテ防止のために土用の丑の日にウナギを食べよう」と宣伝のために源内が考案した「本日土用丑の日」という広告キャッチコピーが元の説であると言われる。それが現代まで続くわが国の風習になったのである。そのほかに源内は、CMソングを作詞作曲したり、商店の広告コピーを手がけて報酬を受けており、これらをもって日本におけるコピーライターの走りとも評されている。鎖国という閉塞感に満ちた江戸時代にこのような異能の天才がいたことは感に堪えないところであり、そう考えると鰻の効用もいや増すものがある。